

## 日立市民文化遺産を写真で巡る旅 II (後編)

中部地区	日立市民文化遺産	ページ
中部地区14	山野邊家臣墓所	2
中部地区15	小平会館のピアノバーゼンドルファー	3
中部地区16	会瀬一浜の焚きあげ祭	4
中部地区17	成沢ささら	5
中部地区18	水漏舎跡一池の川弁天池公園	6
中部地区19	島木赤彦歌碑	7
中部地区20	小豆洗不動尊	8
中部地区21	小野家住宅	10
中部地区22	東叡山石燈籠	11
中部地区23	諏訪神社の木造万年大夫夫婦座像	12
中部地区24	常陸之國御諏訪太鼓	14
中部地区25	諏訪ささら	15
中部地区26	大久保ささら	16
中部地区27	諏訪梅林と長塚節歌碑	17
中部地区28	相馬碑	19
中部地区29	下孫停車場記念碑	20
中部地区30	駒つなぎのイチヨウ	21
中部地区31	大久保鹿嶋神社の流鏝馬	22
中部地区32	暇修館と大窪城跡	24
中部地区33	河原子海岸の烏帽子岩と藤田東湖詩碑	26

中部地区14 (城南町1丁目)  
**山野邊氏家臣墓所**

山野邊氏家臣墓所は、城南町の双葉幼稚園南側にある**東松山薬師面墓地**にあります。



天狗諸生の争いで  
殉死した人を祀る



薬師面の桜





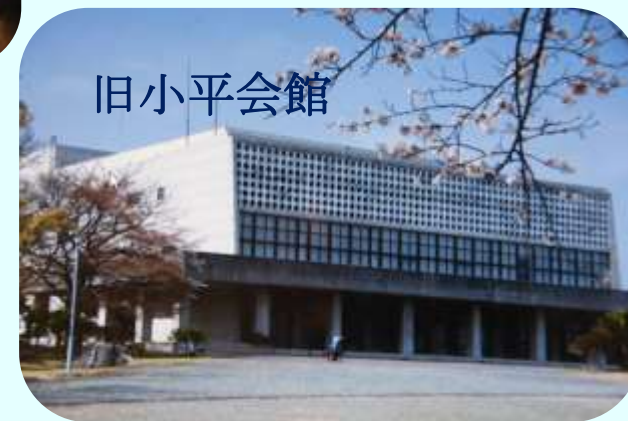
# 中部地区15（城南町3丁目） 小平会館のピアノベーゼンドルファー

ピアノ・ベーゼンドルファーは、日立製作所の小平会館に備えられましたが、会館の取り壊しにより、現在は日立総合病院に置かれて、病院職員のコンサートに使用されています。  
オーストリア製。



鍵盤が普通のピアノより9つ多い

プロムナードコンサート



旧小平会館



## 中部地区16 (会瀬町1丁目) 会瀬 浜の焚きあげ祭

会瀬地区では、会瀬浜で毎年小正月の1月15日に「浜の焚きあげ祭」を行っています。かつて、行われていた「**どんど焼き**」を「浜の焚きあげ祭」と名を改めて復活させました。



「**どんど焼き**」とは、正月飾りや注蓮(しめ)縄を積み上げて燃やすもので、餅や団子を焼いて1年の**無病息災**や**五穀豊穡**を祈ります。



凧あげ



会瀬浜太鼓



目次へ



## 中部地区17 (中成沢町2丁目)

# 成沢ささら

成沢ささらは、成沢鹿島神社の祭礼に、露払いとして供奉(ぐぶ)する獅子舞で、獅子、しゃぐま、笛などで構成され、獅子は「かるさん」の唐草模様が特徴で、**勇壮活発な舞**となっています。



長谷川孝氏提供 2017.5.3撮影



# 中部地区18 (中成沢町2丁目) 水漏舎跡一池の川弁天池公園

水漏(すいろう)舎は、明治5年に文部省の学制公布によって、成沢村に開校した**成沢小学校の前身**です。

池の川弁天池公園には、**水漏舎跡の碑**が建っています。



昔の水漏舎



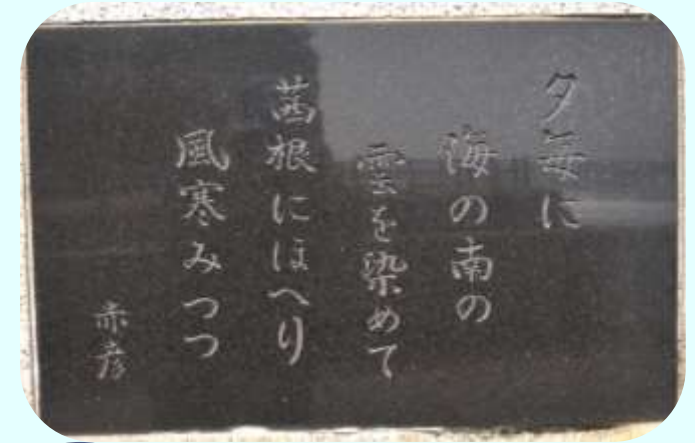
池の川弁天池公園





中部地区19 (東成沢町1丁目)  
**島木赤彦歌碑**

アララギ派の歌人島木赤彦が鮎川海岸の焼石湯を営んでいた「**島崎館**」に**病気療養のため宿泊**した時に、詠んだ歌一首を、後に記念として地元によって**歌碑**が建てられました。



鮎川河口



夕毎に  
 海の南の  
 雲を染めて  
 茜根にはへり  
 風寒みつつ  
 赤彦



昔の鮎川河口



中部地区20 (東成沢町3丁目)

## 小豆洗不動尊

小豆洗不動尊は、鮎川の下流にあります。佐竹氏の家臣が館を築いて不動尊堂を建立し、**俱利伽羅(くりから)不動明王**を祀って、館の安泰を願ったと伝わっています。また、「**小豆洗の怪談**」の民話も伝わっています。



不動明王



剣



屋根瓦

## 小豆洗の怪談

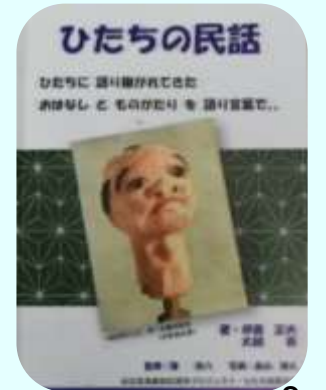


大学橋

鮎川



湧き水



目次へ





小豆洗不動尊の縁日



俱利伽羅不動明王

毎年1月28日と  
8月28日が縁日

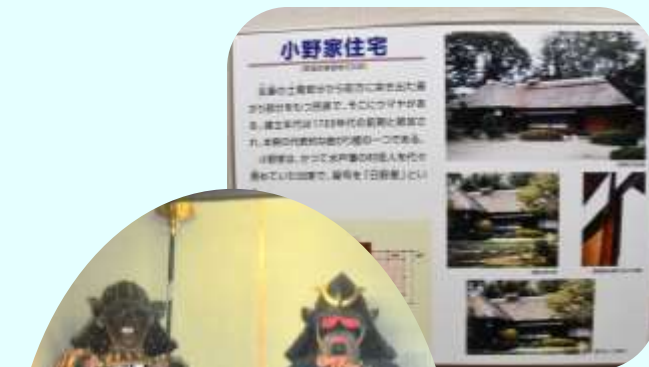


目次へ



## 中部地区21 (諏訪町2丁目) 小野家住宅

諏訪町にある小野家住宅は、**18世紀前期**に建てられたとみられる**茨城県**の代表的な**曲り屋**の一つで、**県指定文化財(建造物)**です。



小野家で注目されるのは奥の間にあたる「**ざせき**」の意匠や最も早い雨戸出現の例です。





## 中部地区22 (諏訪町) 東叡山石燈籠

平和台霊園内にある東叡山(とうえいさん)石燈籠は、江戸時代の延宝(えんぽう)年間と宝永年間に製作され、徳川家に奉納された3基の石燈籠で市の指定文化財(工芸品)になっています。



延宝九年燈籠は南部八戸藩から徳川家綱墓前へ奉納



宝永六年燈籠は丹波園部藩から徳川綱吉墓前へ奉納



宝永七年燈籠は備前島原藩から徳川綱吉へ奉納



# 中部地区23 (諏訪町2丁目) 木造万年大夫夫婦坐像

万年大夫夫婦(まんねんだゆうふうふ)坐像は、徳川光圀が諏訪町の諏訪神社に奉納した神像で、作例が少なく、この像と胎内にあった小さな夫婦像を含めて文化財に指定されています。



諏訪神社  
敷地内



県指定  
彫刻

諏訪神社



郷土博物館展示



胎内神像

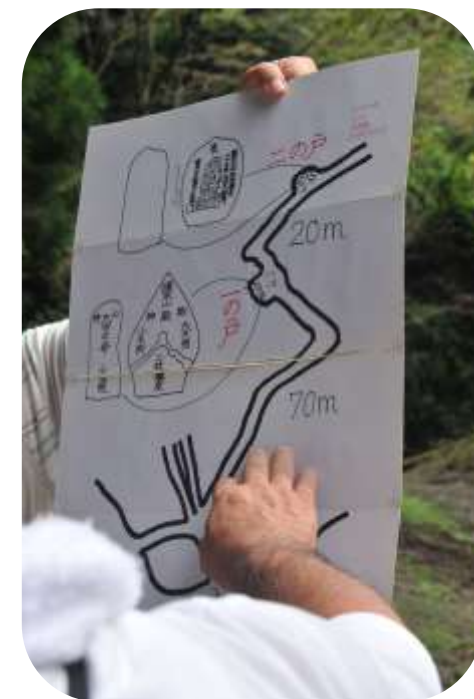


藤原高利夫婦



## 諏訪の水穴

諏訪神社の神官となった**藤原高利**が、自らの像を刻んで神社に収めてから、**信州諏訪湖**に通ずるとい水穴に入って、ついに戻らなかったという伝説が残されています。



鮎川上流



巖島神社



# 中部地区24 (諏訪町3丁目) 常陸之國御諏訪太鼓

常陸之國御諏訪太鼓保存会は、諏訪ささらや地区盆踊りの太鼓を独立・発展させ、信州の諏訪神社にゆかりのある地域として御諏訪太鼓を演じる会を新たに発足させたものです。



諏訪神社  
にて





## 中部地区25 (諏訪町3丁目) 諏訪さら

諏訪さらは、**諏訪神社**の出社祭礼の際に奉納され、雄大獅子、中獅子、雌獅子、しゃぐま役、笛、などで構成します。獅子の衣装は、**格子縞(しま)**の**かるさん**が特徴です。





中部地区26 (桜川町1丁目)  
大久保ささら

大久保ささらは、大久保鹿島神社祭礼の露払いとしての獅子舞で、雄大獅子、中獅子、雌獅子、ざいふり役、笛、警固などで構成され、素朴さが特色です。



「ざいふり」とは「しゃぐま」のこと



大久保鹿島神社



## 中部地区27 (諏訪町)

# 諏訪梅林と長塚節歌碑

諏訪梅林は、県道37号線沿いの鮎川の岸にあり、水戸藩第9代藩主徳川斉昭の命により始まりした。現在は日立市が管理して約300本の白梅、紅梅が植えられています。



長塚節歌碑



鮎川



目次へ



烈公手植の梅





諏訪梅林の梅の花





# 中部地区28 (多賀町5丁目) 相馬碑

相馬碑は、誰が何のために建てたのか  
分かっていない謎めいた石碑です。永禄  
5年(1562)、佐竹勢と陸奥国相馬の相馬  
勢が鮎川下流の孫沢原で戦い、相馬勢  
の戦死者が30余人にのぼりました。



念仏橋頭彰碑



念仏橋不明





# 中部地区29 (多賀町1丁目) 下孫停車場記念碑

下孫停車場記念碑は、明治30年に現在の常磐線が開通した時、**下孫駅**(現在の常陸多賀駅)ができたことを記念して建てられました。



ラウンドアバウト式ロータリー



## 中部地区30 (大久保町2丁目)

# 駒つなぎのイチョウ

駒つなぎのイチョウは、大久保鹿嶋神社境内にあり、平安時代初期の**武将・坂上田村麻呂**が奥州征伐に向かう途中、神社に戦勝を祈願して馬を繫いだという伝説があります。



県指定天然記念物

樹齢550年以上





## 中部地区31 (大久保町2丁目) 大久保鹿嶋神社の流鏝馬

流鏝馬は、佐竹氏がこの神事を奉納したことが始まりといわれ、毎年10月29日に河原子海岸で潮垢離(しおごり)神事を執り行った後、下孫鹿嶋神社でお祓いを受け、大久保鹿嶋神社に戻り流鏝馬が行われます。



流鏝馬は神社の  
参道で行われる







神官宅から



河原子海岸烏帽子岩

神事



潮垢離(しおごり)神事



下孫鹿島神社のお祓い



大久保鹿嶋神社

目次へ



## 中部地区32 (大久保町4丁目) 暇修館と大窪城跡

暇修館は、水戸藩の郷校として大窪城跡に建てられました。当初は、興芸館と呼ばれ、教育の中心は医術でしたが、暇修館と改称され、弓や鉄砲などの武術訓練も行われました。現在は生涯学習施設として活用されています。



旧暇修館

暇修館



大窪城跡  
と併せて市  
指定史跡  
に指定







大久保城跡碑



道標

# 大窪城跡



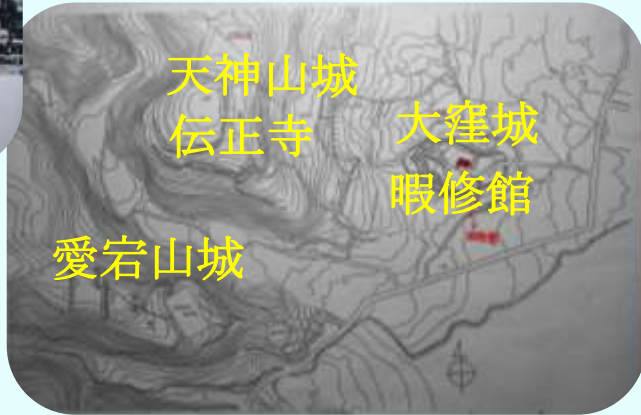
大窪城跡 (三の丸東方正面)



愛宕山城と天神山城への道標



地図



目次へ

# 大久保城跡の土塁



伝正寺

天神山城跡



中部地区33 (河原子町2丁目)

## 河原子の烏帽子岩と藤田東湖詩碑

烏帽子岩は、河原子海岸のシンボルの存在で、この岩の名は**烏帽子**に似ていることに由来しています。かつては、海水が入り込んでいたため**千尋橋**が架けられていました。



藤田東湖詩碑



藤田東湖は水戸藩士の碩(せき)学で3度訪れている。



津神社

詩碑



津神社



千尋橋

昔の風景